

10.12.No16
行任 市岡田
発責 0883-88-5298

三山嶺や剣山にと雪氷がつきはじめて、雪も与持にけ降り、遅い冬が近づいている。十一月も終わり、二〇〇五年もあと一ヶ月。
農作物が動物によつて先に食べられ、くまい、人の口にはいるのは、食べ残りのよつて状況が続いていますが、今年も鹿様々です。

鹿がコメツツを食はじめて、多くの不仕の段や草を食べてくれるので、その対策の為に仕事が出来まして、七月以降ほぼ毎日の様に三山嶺に登りました。被害防止の為にネット張りの作業が



三山嶺の風景

大きく大きく (斯く)

好きは山に登ると、お金を頂ける喜んで、みんながニスははめつたにありません。
その上、三山嶺の山甲を歩くことが可能なのですから、日頃家の周辺で農作物を荒らす鹿ですが、三山嶺では感謝、感謝であつた様で、ようやく予定の作業が終わりました。登山者の皆様、三山嶺に人工物がいついかになりましたか、我慢して下さい。
どの山と言えは、皆人びと、せせせせとお金のために杉や松を植栽し、まくり、ほとんどの山に杉や松を植栽、その上、家の周りは、畑がなくなり、茅を植栽し、畑がなくなり、畑がなくなり、鹿や猪がみるみる自滅する悪い条件を作つてしまつたのですから、仕方ない。
三山嶺や剣山の一部の樹木や植物の保護は出来ませんが、道沿いの山々の樹木や植物をカバーすることは不可能です。ただ、日ごと、共に生きていくことをみつける必要があります。

鹿鹿



合はけで判断し、はいはいと人びと。山には獣道が縦横にあります。おれらも着た以外の物を残すこと、山を歩く人が歩いた場所には、必ずバットボトル、空き缶等の人工物があります。動物の対策は考え、山を歩く人をどうすればいいのかわからない。三山嶺の鹿対策で、鹿が頂上に向つて登れなくした様に、人が勝手に登山道以外を登れなくするには、ネットでも張りめぐらさなければいけません。どうすれば、まぼろし仕事があつて、この不況の時代に、雇用促進が計られて、田舎の活性化も出来るかも知れませんよ、本気で対策が必要ですよ。

11月に出会った言葉
自由は平等を導き、平等は自由を生む

～ 午の旨 天狗塚遠望 ～ 本社方面より

